

1. 原稿の枚数

原稿はA4判（一段組）で作成し、文字数は1頁1000字程度とする。

- ・企画論文：10ページ程度
- ・論文：15ページ程度
- ・研究：15ページ程度
- ・書評：5ページ程度

なお、タイトルから参考文献まで全てページ数に含まれます。

2. 基本構成

原稿は、A4判（一段組）で次の順に作成してください。

- ・タイトル（和文）
- ・著者名
- ・本文
- ・注
- ・参考文献

なお、別添の用紙「産研論集 記載事項記入用紙」にも必要事項をご記入の上、必ず原稿とともにお送りください。

※記載事項記入用紙はダウンロードできます。

http://www.kwansei.ac.jp/i_industrial/news/2013/attached/0000039714.doc

3. 原稿の提出方式

電子的な原稿とそのハードコピー、記載事項記入用紙を関西学院大学産業研究所へご提出ください。

- ・電子版提出先：

E-mail：sanken@kwansei.ac.jp（関西学院大学産業研究所）宛に

「原稿（基本はMS-Word形式）」と「記載事項記入用紙」を上記アドレスまで送付してください。

- ・ハードコピー提出先：

関西学院大学上ヶ原キャンパス図書館3F、関西学院大学産業研究所まで1部ご提出ください。

なお、「研究」へ投稿される方は、ハードコピー3部をご提出ください。

（サイズはA4判、うち2部は著者名、所属名、職位を伏せた原稿をご用意ください。）

4. レイアウト等

レイアウトは、本要領に従ってください。

(1)マージン等

上下：各25mm、左右：各25mm

(2)フォント等

フォントは、原則として、以下の通りとします。

- ・タイトル：明朝体 14pt
- ・著者名、所属名、職位：明朝体 12pt
- ・本文：明朝体 9pt
- ・見出し：原則としてゴシック体 10.5pt
- ・注/参考文献：明朝体 8pt

5. 文中の表記

句読点は、原則として「。」、「、」を使用し、数学記号が多い論文は「.」「,」を使用してください。

新字、新カナを使用してください。また、ヨコ組みですので、句読点、カッコ、ロンなどはヨコ組の表記になります。

6. 用字用語、表記の統一

『産研論集』では、原則として、用字用語の統一は行いませんので、各自で原稿中の統一をはかって下さい。

(1)日本人以外の人名表記

人名は以下の方式で表記します。

(例)

カタカナ (原語表記) J.ピアジェ (J. Piaget)

漢字表記 毛沢東

学術上、論文の展開上重要と思われる人名は、原則としてカタカナと言語での表記となりますが、すでに一般的となっている人名、あるいは論文の展開上特に原語表記をする必要がない人名については、併記の必要はありません。

(2)西暦・和暦、数詞

半角アラビア数字を使用してください。

(3)注の書き方

注番号を付け、本文の最後に通し番号で、記述します。

(4)参考文献の表記方法

①和書、洋書とも以下の順番で掲載いたしますので、必要項目を順番どおりに並べ入稿してください。

【和書：五十音順】

著者名 『書名』（論文の場合は「」） 版数 巻数 出版社名

刊行年 頁数

【洋書：アルファベット順】

著者名、書名（イタリック体、＜論文の場合は、論文名はイタリック体にせず“ ”、雑誌名をイタリック体に＞）、版数、巻数、（刊行地、出版社名、刊行年）頁数

②引用文献のページ数の表記方法は、(f) は使用せず、全て (p) で表記してください。

例) 123 ページから 124 ページ引用した場合

○「pp.123-124.」 ※「p.123f」の表記は避けてください。

(5)原稿中の写真・表について

採用時には単独の形式でご用意下さい。

① 写真（点で構成されたグラフィックス）：

デジタルカメラで撮影したものであれば、解像度 350 DPI 以上のオリジナル写真データを標準的な画像フォーマット (JPEG) のファイルとして、またアナログ写真で撮影されたものであれば、紙焼きの形でご用意下さい。

② 表組み：

スキャン画像ではなく、作表した際に使用したソフトのファイル形式でご用意下さい。

以上